

今回のロータリーデー開催の企画はゲーリーC.K.ホァンR I 会長が提唱する地域社会の人々にロータリーを良く理解して頂く機会と、滝澤功治地区ガバナーのスローガンの「何か新しいことをしよう。」を受けて、山内利樹会長の下日頃のロータリーに対する熱い思いを織り込んで計画準備するよう、ロータリーデー検討委員会を早々に立ち上げ井上隆雄委員長以下、色々と検討を重ね毎年



丹波篠山を代表する秋の味覚を振舞う「丹波篠山味まつり」3日間の開催に合わせ、多くの人出が期待できる初日10月11日(土)の1日に絞り込み、特別会場の一角でロータリーデーを開催することを決めました。当日はロータリアンはもとより、支援している篠山産業高等学校インターアクトクラ



ブにも協力参加いただき、「ポリオ撲滅」の募金活動を行いました。インターアクターの大きな声で「全世界でポリオの発症数を99パーセント減らすことに成功しました。今、あと少しでポリオを撲滅できるところまでできています。しかし、撲滅を完全に成し遂げるには、皆さまからの支援が欠かせません。」と募金協力の要請をする多くの人たちの心を打ち、およそ5万円募金を集めることが出来ました。更に、メンバーの提案で昨年友好クラブ締結した仙台西

ロータリークラブと協力して支援を続けている、東日本大震災で被害の多かった南三陸歌津港の若い漁師たちの力になるために今回は「南三陸特産塩蔵わかめ」の販路拡大への協力を企画し、仙台西ロータリークラブと共に「南三陸わかめ」と「丹波ささやま新米こしひかり」とのセットを1,000円でPR販売し、200組を売り上げました。お客様にチラシを見せて注文販売していますので今後の購入も重ねてお願いし販路を拡大する応援が出来ました。ロータリーでは過去にこのような店頭販売を実施したことがありませんので、戸惑いましたがガバナーの提案される「何か新しいことをしよう。」を実現でき良い経験となりました。



我がクラブは地元活性化の為、地区補助金を積極的に活用して社会奉仕活動をほぼ毎年行い、また新世代の活動では公立中学校では全国的に少ない篠山中学校インターアクトクラブも創設し、2つの高校と合わせて3校のインターアクトクラブを強力にサポートしています。今回のロータリーデーでは篠山ロータリークラブの日頃の活動の一環を地元はもとより来篠頂いた皆様、東日本大震災支援やポリオ募金等の奉仕活動通じ、ロータリークラブの存在感や活動ぶり、つまり「ロータリーの輝き」を目に見える形で理解して頂き、ロータリークラブの公共イメージ向上に貢献出来たロータリーデー開催でした。